

いずみ野線 A 駅 (秋葉台公園東側付近) 周辺 まちづくりニュース

～いずみ野線延伸に向けた状況や地域のまちづくりについての情報発信～

2024 年(令和 6 年)4 月発行

<発行・編集>

藤沢市都市計画課

・電話：0466-50-3537

・FAX：0466-50-8223

・電子メール：

fj-tosikei@city.fujisawa.lg.jp

Topics

- 1) A 駅周辺まちづくり連絡会 (第 9 回) について
- 2) いずみ野線延伸の概要について
- 3) いずみ野線延伸の取組状況について

1) A 駅周辺まちづくり連絡会 (第 9 回) について

2024 年(令和 6 年)2 月 14 日に、A 駅の設置が予定されているイトーヨーカドー湘南台店周辺の自治会等の代表の方などで構成されたいずみ野線 A 駅周辺まちづくり連絡会 (第 9 回) を遠藤市民センターで開催し、意見交換を行いました。今回のニュースでは第 9 回連絡会の内容を中心にご報告します。



2) いずみ野線延伸の概要について

連絡会の委員が一部改選されたことから、延伸や A 駅周辺のまちづくりの取組について、これまでの主な経過を再確認しました。

～いずみ野線の延伸及び A 駅周辺のまちづくりの取組の主な経過～

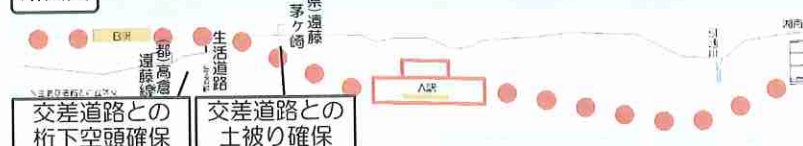
- 2015 年(H27) 「いずみ野線 A 駅周辺まちづくり計画」策定
- 2016 年(H28) 交通政策審議会答申において、いずみ野線延伸(湘南台～倉見)が位置付けられる。
- 2017 年(H29) A 駅と B 駅(慶応大学 SFC 付近)の概ねの位置を関係者間で合意
- 2018 年(H30) 湘南台駅～B 駅までの鉄道線形等の技術的な検証を実施
- 2019 年(R1)～ いずみ野線延伸の課題とされている事業性に関して、需要の創出や建設コストの縮減などの検討を進めている。

●湘南台駅～B 駅までの鉄道線形等の技術的な検証 (2018 年 (H30))

平面図



断面図



注1) 「いずみ野線延伸検討協議会」において検討中の鉄道線形等であり、今後、詳細な検討や調整を進めていきます。
注2) 本図面を基にして、今後、まちづくり及び鉄道計画に係る検討を深めていきます。

3) いずみ野線延伸の取組状況について

いずみ野線延伸の課題である事業性に関する検討について、現在の主な取組を説明しました。

◆事業性の確保に向けた主な取組

需要の創出

➤ 都市基盤整備 (A 駅周辺・B 駅周辺のまちづくり)



B 駅周辺(健康と文化の森地区)は、令和6年3月29日に市街化区域への編入と同時に、土地区画整理組合の設立認可を受けました。

建設費の圧縮

➤ 駅構造の見直しの検討

A 駅のプラットフォームは、地下 2 階への設置を検討していますが、例えば、地下 1 階にすることで、全体的に掘削する量が減り、建設費をより安価にすることが期待できます。

ホームを地下 1 階にすることで想定されるデメリット

- 上下線相互の乗り換えが不便
- 改札などの施設が複数必要 (管理するための経費がかさむ)

➤ いずみ野線延伸までの(都)高倉遠藤線の4車線化に併せたBRT[※]の機能強化
(※湘南台駅～慶応大学間で急行運転を行っている連節バス)



現在運行されている連節バス車両

BRT の機能強化により、

- 輸送力増強
- 定時性向上
- 速達性向上 が期待されます。

これにより、利便性が向上することで、BRT 沿線地域のまちづくりの成熟度を高め、将来的ないずみ野線延伸の需要を喚起するものと考えています。

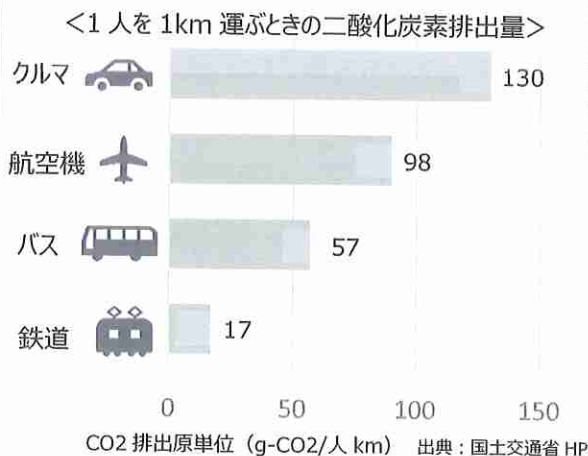
第9回連絡会の主なご意見

- 湘南ライフタウンなどから広域的に鉄道利用者呼び込むことも考えた方がよい。
- いずみ野線延伸事業について、市内外を問わず情報発信した方がよい。
- 需要創出に関して、A 駅周辺において秋葉台公園を生かしたまちづくりを考えてほしい。

～日常の移動について、クルマ利用と公共交通利用を比べてみましょう～

日常の移動を考えるきっかけづくりとして、クルマ利用と公共交通利用について、客観的に比較したデータを紹介します。日常のすべての移動を公共交通にすべきというわけではありません。クルマ移動のうち、1年に1回でも公共交通の利用を考えていただきたいと思っています。

“環境”に着目した比較



環境省では、二酸化炭素の排出の少ない移動にチャレンジしてもらうため、“「移動」を「エコに」”を合言葉に、エコで賢い移動方法を選択するライフスタイルを「smart move (スマートムーブ)」と名付け、その取り組みを推奨しています。



「smart move (スマートムーブ)」の5つの取組



- ① 公共交通機関の利用
- ② 自転車、徒歩での移動
- ③ 自動車の利用の工夫
- ④ 長距離移動の工夫
- ⑤ 移動・交通における CO₂ 削減の取組に参加